

第三評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<コメント> 理念・基本方針は職員への周知はもちろん、子どもや保護者、地域住民や関係機関にも広く周知することが必要です。事業計画、パンフレットに明文化されていますが、誰もが理解できるような工夫を望みます。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 社会福祉事業の動向分析、地域福祉の動向、地域の子どものに関するデータの分析を行っていますが、十分とは言えません。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
<コメント> 課題や問題点については役員並びに職員全員の周知には至っていません。入所児童数が少ない問題等は、取組を進めていますが措置前提の問題があるため、十分ではありません。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c

<p><コメント> 年度事業の中に、国の小規模化の方針に対応した「家庭的養護推進計画」が記載されていますが、「中・長期の事業計画」と「中・長期の収支計画」の策定には至っていないと判断しました。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<p><コメント> 中・長期的なビジョンと、計画に基づいた単年度計画が策定されていないと判断しました。</p>		
<p>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント> 事業計画の策定は、担当職員が評価を行い、次年度の事業計画へ反映させていますが、職員全員での見直しは行われていません。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	c
<p><コメント> 事業計画は、子どもや保護者には配布・説明されていませんでした。</p>		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
<p>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p>		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント> 各種の外部研修への参加、子どもたちの処遇に関する施設内会議、年1回の自己評価、第三者評価の定期的な受審等、養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われていますが、十分に機能しているとは言えないと判断しました。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント> 評価結果や課題は共有できており、課題の改善も行ってはいますが、改善実施計画等の策定による実施までには至っていないと判断しました。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。</p>		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント> 職務分掌、事業計画、職員会議等で施設長自ら施設の経営管理の方針を明確にしており、施設長不在時の権限委任等も明確に示しています。</p>		

11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント> 施設長自ら外部研修に積極的に参加し、法改正や各種事件・事故等の情報を収集し、職員会議や日々の引き継ぎ会に参加し、情報を伝達しています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント> 外部研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めています。また、児童処遇に関する会議、日々の引き継ぎ会に参加し、養育・支援の質の向上に意欲的に取り組んでいますが、十分とは言えません。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント> 施設の状況に応じた職員配置を整えています。職員会議において経営改善に向けての現状報告を行う等、経営や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮していますが、今後に向けた取組については職員に十分には報告されていません。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p><コメント> 養育・支援に関わる専門職など必要な福祉人材を、加算職員の配置等を行うなどして確保・定着させていますが、具体的な計画作成にまでは至っていません。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p><コメント> 期待する職員像は事業計画の中で明確にされており、人事基準等は職員会議で全職員に周知しています。職員会議では職務の遂行状況を確認し、職員の意向・意見に耳を貸し、早急に検討がなされています。また、人事基準等についても文書化されています。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p><コメント> 職員の就業状況や意向の把握は直接面談をし、随時行っています。職員の定期健康診断も適正に実施されています。しかし、働きやすい職場づくりに向けた課題が出てきた場合の、改善の仕組みの構築が不十分です。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント> 個々の職員の希望と、従事年数に基づき、計画的に外部研修に参加させる等、職員一人ひとりの育成に取り組んでいますが、職員個々の目標設定までには至っていません。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b

<p><コメント> 計画を策定し、教育・研修を実施していますが、内容やカリキュラム等の評価・見直しが行えていません。</p>		
19	<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a
<p><コメント> 職員個々に経験年数、専門性に対応した研修を実施しています。外部研修の情報提供も積極的に行っています。また、新任職員には個別にOJTを行っています。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	b
<p><コメント> 受け入れ担当者を決め、「実習生のしおり」を作成し、指導対応を行っていますが、マニュアル化、プログラム化が十分ではありません。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	b
<p><コメント> 情報公開が必要なものは、広報誌「ようこうえんだより」に掲載していますが、広報誌の配布先が地域までには至っていません。</p>		
22	<p>Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	a
<p><コメント> 公認会計士等の外部の専門家によるチェックや指導・助言により、経営改善を行っています。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>		
23	<p>Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	b
<p><コメント> 「ふれあい祭り」の開催、老人ホームとの交流会等、子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていますが、地域との関わり方についての基本的な考え方を文書化していません。</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	b
<p><コメント> 「ボランティアへの注意事項」を作成し、ボランティア等の受け入れを行っていますが、基本姿勢を明文化していません。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等と</p>	b

	の連携が適切に行われている。	
<p><コメント> 各所から配布される資料やインターネットの活用により、社会資源の情報を収集し、職員会議や日々の引き継ぎ等で情報共有をしています。関係機関等との連携もその都度実施されていますが、社会資源等を明示したリストや資料が作成されていません。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	b
<p><コメント> 園祭として「ふれあい祭り」を開催し、地域住民と交流する中で、施設の機能をPRしています。地域の子ども会の会場等として施設スペースを活用してきましたが、昨年度子ども会が廃止されました。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p><コメント> 不登校通所施設(フリールーム)を開設し、活発に活動しています。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント> 子どもを尊重した養育・支援のための実施計画を策定し、毎月の職員会議でその月の計画に反映させ、実践につなげています。また、児童の個々の養育・支援については自立支援計画書に基づき、職員が共通理解をし、実践しています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	c
<p><コメント> 個人情報保護規程はありますが、プライバシー保護のマニュアルは作成していません。マニュアルの整備と子ども、保護者への周知が必要です。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p><コメント> 養育・支援の内容等についての情報提供は、パンフレットと簡単な補足資料により行われていますが、十分ではありません。子どもや保護者等に向けた、より分かりやすい施設紹介が必要です。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p><コメント> 子どもには「子どもの権利ノート」で、保護者には「ご家族の皆様へ」を活用して説明していますが、ルール化されていません。</p>		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント> 家庭復帰は、児童相談所や保護者と連携をとって行われています。他施設への措置変更は、当施設での状況等を情報提供書にまとめ、支援の継続に配慮しています。就職する子どもには連絡先、その他相談窓口を記入した冊子を説明し手渡ししています。子どもや保護者に対し、アフターケアの計画が提示できればより良いと思います。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント> 児童毎日会が毎晩行われており、子どもの思いを十分把握できています。この会では同時に要望も多く聞かれています。早急な対応が必要な場合は翌日、職員間で検討し、次の毎日会で説明しています。児童が参画する検討会議が実現するとより良いと思います。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント> 苦情解決の体制はできています。意見箱も設置されていますが、子どもや保護者に対して苦情解決の仕組みを分かりやすく説明していません。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
<p><コメント> 子どもからの相談はそれぞれの希望した場所で聴くなどの配慮がなされていますが、文書等には明記されていません。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p><コメント> 子どもからの各種の相談や意見は、職員の当番日誌等で周知を図り、可能な内容であれば聞き取り後、直ちに引き継ぎ会で検討し、対処されています。全体での協議が必要な場合はそのことを子どもに伝え、職員会議で検討・対応しています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p><コメント> 「緊急時対応マニュアル」に基づき対応しています。また、ヒヤリハット相互注意制度を活用し事例収集を行い、改善や再発防止の対応を行っています。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント> 感染症対応マニュアルに沿って取り組んでいます。感染症が拡大する時期には、日々の引き継ぎ会等で注意事項等の説明や、医療機関・学校からの情報を共有しています。しかし、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会を行う等の取組は不十分です。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b

〈コメント〉 防災マニュアルにより基本的な対応を行っています。行政機関からの情報を基に想定される災害の影響把握を行い、必要な対策を講じています。子どもの安全確認の方法、職員への連絡網も整備されています。食品や備品の管理者を決め、マニュアルに明記しています。火災想定避難訓練は消防署と連携して実施しています。しかし、地域や各種機関との連携の構築には至っていません。

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	b
〈コメント〉 「新任教育の流れ」として文書化されたものによって、養育・支援が実施されていますが、標準的な実施方法が確立しているとは言えません。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
〈コメント〉 児童自立支援計画を毎月チェックし、6ヶ月に1回は再評価しています。子どもの意見を聞き取り、支援計画へ反映させていますが、検証・見直しの仕組みが十分に確立しているとは言えません。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	b
〈コメント〉 前年度担当者のアセスメントにより、支援計画の基本が策定されています。策定責任者の名目はありませんが、実質的には施設長が責任者と考えられます。しかし、「各部門の担当者の意見を集約・調整する場を設定し、その場に参画して自立支援計画の内容決定までを統括し、保護者等への連絡説明等を行う」といった、責任者に求められる役割を十分に果たすまでには至っていません。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。	b
〈コメント〉 自立支援計画の見直しは定期的に行われていますが、子どもの意見把握や、同意を得て見直す仕組みは確立出来ていません。		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
〈コメント〉 職員共用の「当番日誌」「幼児日誌」「処遇経過記録表」は、詳細に記録されており、職員間で共有されています。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
〈コメント〉 個人情報保護規程により各種の記録の保管、管理、保存を行っています。しかし、取り扱いについて、子ども、保護者への説明がなされていません。		